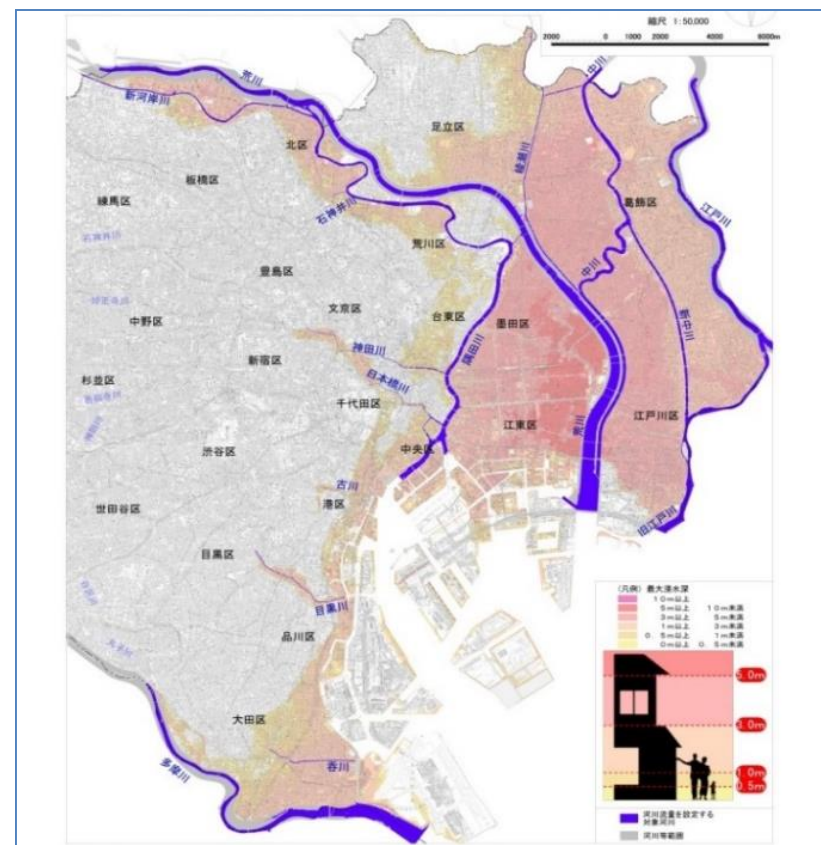
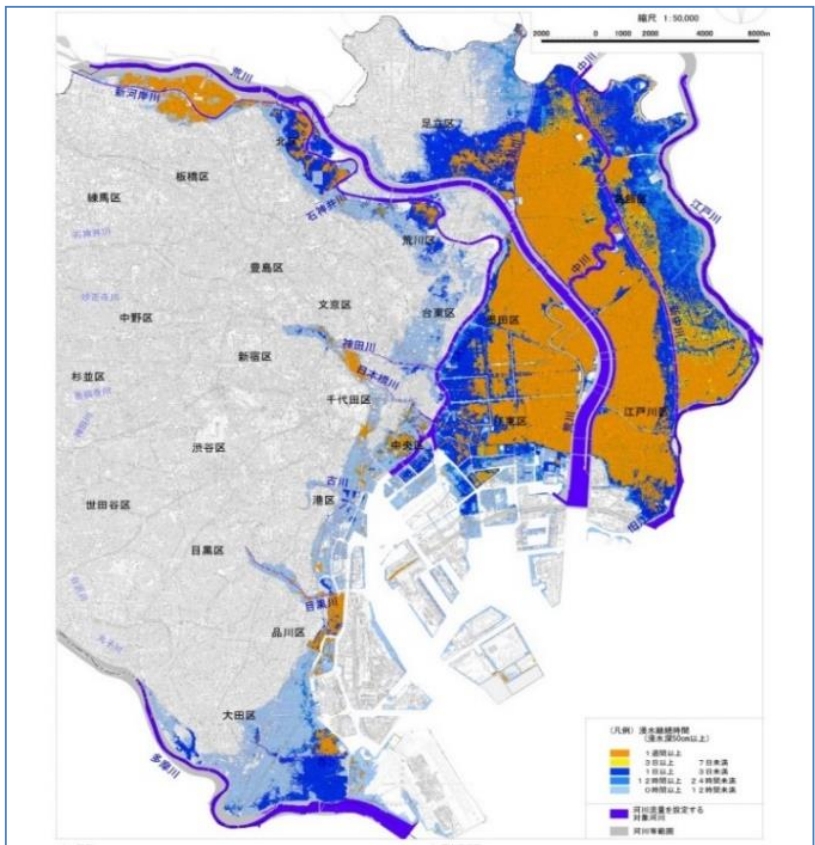


目的

- 平成30年3月に公表した高潮浸水想定区域図によると、東部低地帯を中心に大規模な水害が発生することが判明（最大浸水深 5 m以上 最大継続時間 1 週間以上）
- 大規模水害時において、速やかな排水により浸水を解消し早期の復旧・復興を図るため、排水施設や排水ポンプ車等の効率的な運用方法等を取りまとめた「東京都における排水作業準備計画」を作成**



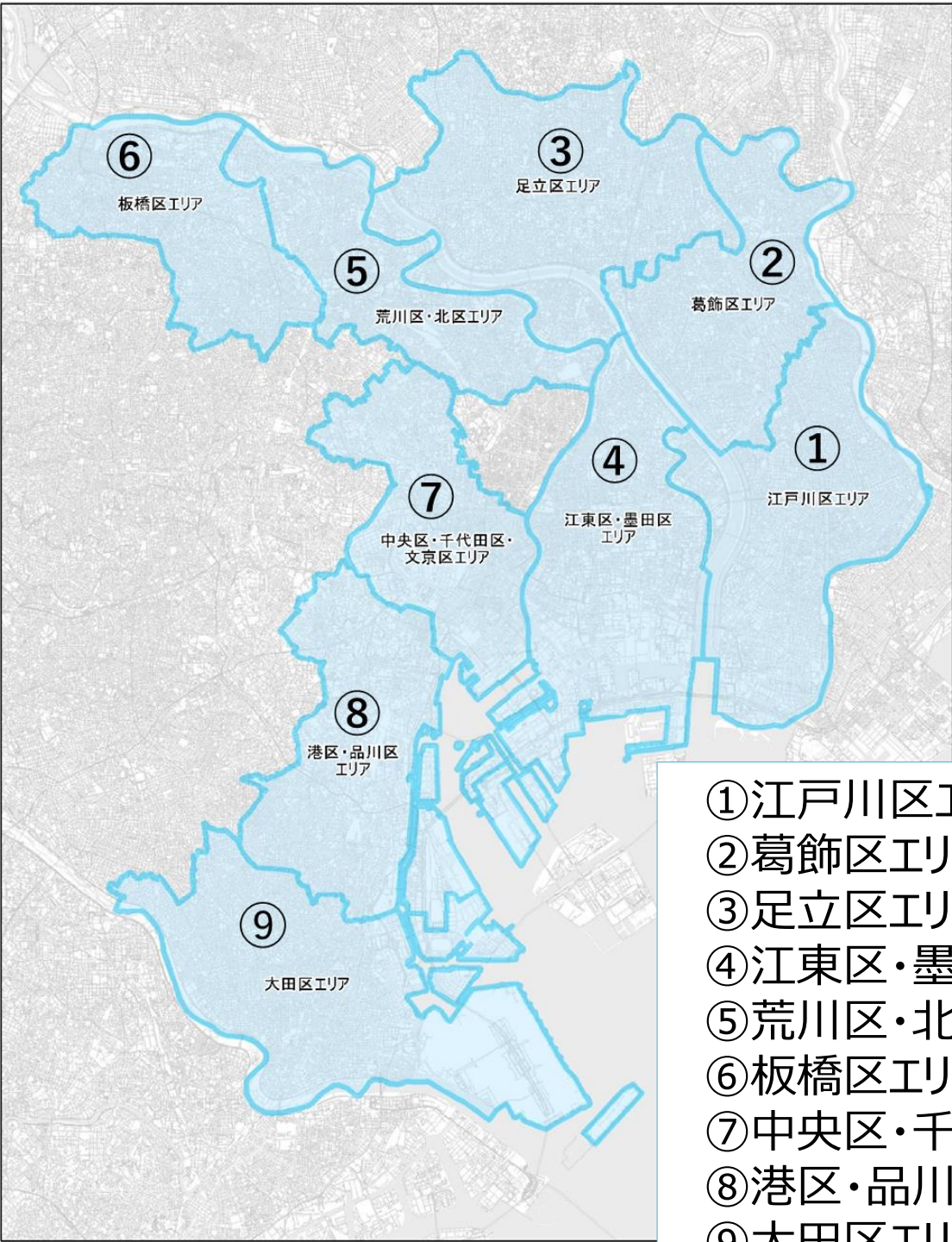
＜高潮浸水想定区域図＞
（浸水深）



＜高潮浸水想定区域図＞
（浸水継続時間）

対象区域

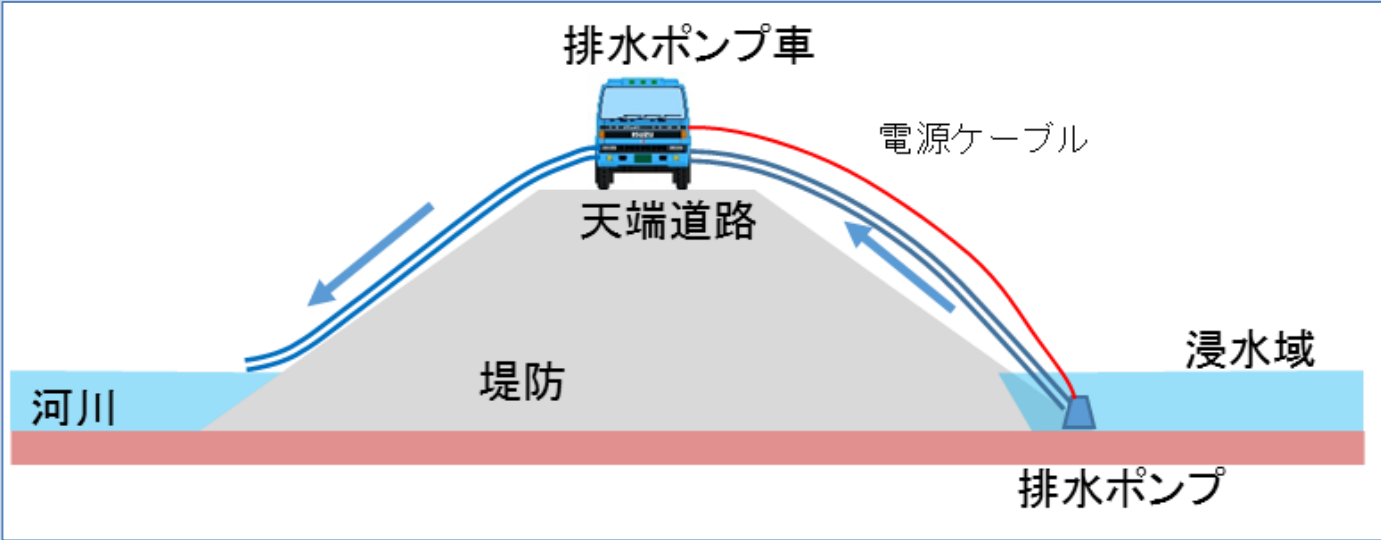
- 高潮浸水想定区域図において72時間以上浸水が継続する14区を9エリアに分割



- ①江戸川区エリア
- ②葛飾区エリア
- ③足立区エリア
- ④江東区・墨田区エリア
- ⑤荒川区・北区エリア
- ⑥板橋区エリア
- ⑦中央区・千代田区・文京区エリア
- ⑧港区・品川区エリア
- ⑨大田区エリア

準備計画の概要

- 以下の2つの事項により構成
- ①全エリア共通事項（対象となる全区に共通する事項）
- ②エリア別事項（エリアごとに固有の事項）

	① 全エリア共通事項
主な内容	排水作業開始までの流れ 災害発生から堤防の状態や浸水の状況を踏まえ、排水計画を立案し、排水作業を開始するまでの流れを明示 排水ポンプ車等の保有状況、諸元 都や国土交通省、東京消防庁が所有する排水ポンプ車等の保有状況や諸元を整理 排水ポンプ車等の配置方法 排水ポンプ車や消防ポンプ車等の配置条件及び配置パターンを整理
	 <排水ポンプ車の配置イメージ（土堤）>  <都所有の排水ポンプ車>

② エリア別事項

- 堤防種別や水門・樋門・樋管等の
河川施設の情報を整理

＜排水ポンプ車の配置候補地＞

主な内容